

Numbering code	U-LAS22 10001 SJ48				
Course title <English>	フランス語 I A (文法) F1111 Primary French A	Affiliated department, Job title, Name	Graduate School of Human and Environmental Studies Associate Professor, NAKASUJI TOMO		
Group	Languages	Field(Classification)			
Language	Japanese	Old group	Group C	Number of credits	2
Number of weekly time blocks	1	Class style	Seminar (Foreign language)	Course offered year/period	2019・First semester
Day/period	Mon.4	Target year	All students	Eligible students	For all majors
[Outline and Purpose of the Course]					
<p>1 フランス語でコミュニケーションをするのに必要な文法の基礎を学ぶ。 2 フランス語の文法学習を通じて多極的世界観を身につける。 (1)フランス語と日本語・英語との相違点に気づく。(複言語学習) (2)フランス語を話す国民の文化や思考法を知る。(複文化学習)</p>					
[Course Goals]					
<p>1) 文法を身につけ、フランス語を読んで理解できるようにする。 2) 発音と綴り字の関係を学び、フランス語を声にだして読めるようにする。 3) フランス語を話すための基礎力を身につける。</p>					
[Course Schedule and Contents]					
<p>1 教材は全部で20課ある。各課は、冒頭の複言語・複文化に関係している「テキスト」と文法事項の説明と練習問題で構成されている。前期は8課までです。 2 授業時間だけでは、フランス語の文法をマスターすることはできない。第2課からは、授業時間外にもネット上でも自律学習する。ひとつの課につき教室外でも60分から90分の自律学習をする必要がある。 3 授業は、CALL教室で教師とともにする学習と教室外でする自律学習のブレンド形式で行う。 4 授業開始の2週間を除いて、毎回1課ずつ進み、各課の終了後に小テストを行う。小テストは自己採点し、その結果の自己分析と学習過程に関するポートフォリオも毎回作成する。</p>					
[Class requirement]					
Refer to "Handbook of Liberal Arts and General Education Courses".					
[Method, Point of view, and Attainment levels of Evaluation]					
成績評価は、前期末におこなわれる統一試験、小テストの点とポートフォリオ作成の熱心さに基づいておこなう。つまり、学習結果だけでなく、学習過程も評価の対象にする。詳細については授業で説明する。					
[Textbook]					
大木・西山・グラツィアニ『改訂版グラメール アクティヴ』（朝日出版社）ISBN:978-4-255-35233-6（教科書についているポートフォリオを毎回提出する必要があるため、必ず購入すること）					
Continue to フランス語 I A (文法) F1111(2)					

フランス語ⅠA(文法) F1111(2)

[Reference book, etc.]

(Reference book)

Introduced during class

(Related URL)

<http://www.tosa.media.kyoto-u.ac.jp/fr/menu.html>((グラメール・アクティヴ))

http://text.asahipress.com/text-web/france/active_call/call_fr/gaf/index.html((『 グラメール・アクティヴ 』 に準拠する文法確認と確認練習))

[Regarding studies out of class (preparation and review)]

授業時間外にもネット上でも自律学習する。ひとつの課につき教室外でも60分から90分の自律学習をする必要がある。

[Others (office hour, etc.)]